



市議会うんなん

no.12
2007.10.20



より早く
より高く
より遠く

大東陸上競技大会

平成19年 9月定例会

- 9月補正予算の概要と主な施策 2～3
- 委員会報告 総務委員会・教育民生委員会・産業建設委員会・ダム対策特別委員会 4～5
- ここが聞きたい 一般質問 20名の議員が登壇 6～14
- 議員活動視察研修 15
- 請願・陳情 議員発議 ほか 16

雲南市議会9月定例会は、9月3日から21日まで19日間の会期で開かれました。

9月補正予算の概要と主な施策等について報告します。

7月豪雨災害復旧費 1億4、800万円計上

9月補正予算の概要

今年7月の豪雨により発生した農地、農業用施設などの災害復旧費のほか、地方債の繰上償還金、小規模多機能型施設（吉田町、枋の実寮）建設事業補助金などを追加しました。

また、事業の進捗状況に合わせ、水道事業会計出資金や高速道路整備備関連事業などの減額を行いました。

一般会計は補正額7億1、110万円、予算総額は286億5、220万円となりました。

一般会計

（主な歳入）

地方交付税
3億1、419万円

災害復旧費国庫負担金

5、753万円

災害復旧費県補助金

3、077万円

減債基金繰入金

△1億4、829万円

繰越金

1億9、399万円

（主な歳出）

出雲大東駅指定管理料

103万円

枋の実寮建設事業

1、500万円

保育所臨時職員賃金

2、930万円

かもめ保育園委託事業

456万円

林地崩壊防止事業

（6か所）

2、524万円

災害復旧費

1億4、841万円

市債繰上償還

4億1、006万円

生活排水処理事業特別会計

コンポスト設備修繕

115万円

汚水施設汚泥処理費

500万円

ダム対策事業特別会計

尾原ダム対策連絡協議会

50万円

主要施策等

1. 豪雨災害の復旧状況

◎18年7月災害

昨年7月の豪雨により公共土木災害と農林関係災害合わせて約1、000箇所の被災箇所が発生しました。

公共土木災害は、河川道路合わせて274箇所が被災しました。昨年度国の割当により187箇所を発注し、現在140箇所が完了しました。昨年度未発注の87箇所については、9月末までに全て発注されます。農林関係災害はほぼ全

箇所を発注し、うち約300箇所が完了しました。40箇所が現在施工中ですが、来年3月には完了予定です。

◎19年7月災害

本年7月の豪雨災害は公共土木災害で、市管理河川6箇所、市道15箇所となっています。

農林関係災害は全体で約80箇所です。これらの復旧工事については、9月定例会の災害補正予算の成立により、早期発注される見通しです。

2. 雲南ブランド化プロジェクト本格始動

◎7月10日開始宣言

関係者約110名により雲南ブランド化プロジェクトの開始宣言が行われました。広域路線バスに「幸運なんです。雲南です。」のロゴマークを入れて運行しています。

◎「ふるさと雲南キヨロキヨロ探検バスポート」

市内の小中学生を対象に夏休み期間中、広域路線バス、市民バスに乗りこえるバスポートを発行し実施しています。この他「親子チケット」の発行や、市

民バスを活用したバスツアーも企画しました。

◎「ふるさと雲南キラキラ未来プロジェクト」

文部科学省から事業委託を受け、8月8日実行委員会を設置しました。不登校児童生徒への支援策として「キラキラサポーター」を配置し、学校において活用されています。

◎公有施設の活用調査

内閣府の全国都市再生モデル調査事業の採択を受け、早稲田大学建築学科の学生による公有施設の活用調査が

行われました。調査結果を今後の市政運営に役立てていきます。

◎映画「うん、何？」の上映計画

雲南市で撮影された映画「うん、何？」は今年10月に完成する予定です。11月から12月にかけて市内の公共施設において先行上映会（プレミア上映）が計画されています。

全国各地での上映は来年の春以降を目的に調整中です。

5. 下水道使用料及び分担金について

かねてから懸案であった下水道使用料について一昨年から審議会において検討され、7月4日答申がありました。また下水道事業の加入分担金についても検討委員会でも検討され、7月12日に意見書が提出されました。

使用料金については、人数制、人槽制および従量制の現行料金体系を、従量制に一本化し、料金の統一を図ることになりました。分担金については、各町ごとに差異があり、

各町の中でも処理区ごとに金額の差異があります。各処理ごとに工事費の概ね5%が分担額と設定されていますが、本市の下水道整備率が78%まで進んでいる点など考慮して統一

は困難であると判断し、現行通りとなりました。但し、掛合町の合併浄化槽の分担金はありませんでした。今回の改正で分担金を徴収することになりました。

市庁舎建設調査特別委員会設置

現在の市庁舎は暫定庁舎であり、財政状況等をふまえ、新市建設計画期間中の平成26年度までに新庁舎の建設を目指すこととされています。

この大きな課題について検討するため、9月議会において、市庁舎建設調査特別委員会を設置されました。

委員長	岡田 盛行
副委員長	深田 徳夫
委員	福島 光浩
	堀江 眞
	周藤 強
	小林 眞二
	吉井 傳
	安原 重隆
	深津 吏志
	内田 郁夫
	日野 守
	佐藤 嘉夫

3. 雲南市Uターン推進協議会の設立

団塊の世代を中心とした田舎暮らしを促進させるため、定住推進員の他商工会、JA雲南、定住実践団体など関係機関と市役所を構成団体として雲南市Uターン推進協議会が設立されました。

10月に東京と大阪で開催される、田舎暮らしの良さをアピールするイベント「ふるさと回帰フェア2007」への参加や、島根県の「島根暮らしUターン支援事業」に取り組みます。

4. 出雲大東駅の周辺整備

平成14年度から取り組んでいた、公立雲南総合病院や出雲大東駅周辺の交通・交流拠点施設の整備が9月末で完了します。老朽化が進んでいた出雲大東駅を改築し、10月1日より、特産品、JR

乗車券の販売や観光案内テナント入居による簡易郵便局の業務が行われます。また、待合交通スペース、イベント広場を活用し、特産品、観光資源など雲南ブランドの創造発信をしてまいります。



委員長 小林 眞二

◆ 権利の放棄議案を継続審査に

本委員会では、株式会社みとやの解散に伴う残余財産の分配を受ける額のうち、164

万円を放棄する議案に質疑が集中した。慎重な審査を求め「休会中の継続審査を求める動議」が提出され、採決の結果、全会一致で継

続審査とした。

この議案は、(株)みとやが平成19年3月31日をもって解散。清算の結果、現金・現物を含めても元本割れが生ずることとなった。そこで、一般株主の出資金を全額返還するため市が受けとる分配金の権利を放棄し充当しようというものである。

委員会としては、現在に至るまでの経過及び元本割れの原因の検証、また、市が現物で受ける分配物の内容確認など慎重な審査を行っていく。

〈予算関係〉

◆ 補正予算は、来年度より下水道使用料の統一が行われることに伴う電算システムの委託料、出雲大東駅舎指定管理委託料などを全会一致で可決すべきものとした。



完成した出雲大東駅。指定管理者に管理委託される。竣工式でくす玉を割る参列者（9月28日）



委員長 石川 幸男

来春開校する掛合統合小学校の屋内運動場建設工事（建築主体）契約の議案に質問が相次いだ。当初の工事価格の積算に誤りが認められ、再精査の結果、1、133万円増額しての入札執行となった経緯の説明を求めた。

また、7月に完成し竣工検査を終えている校舎建設の工事価格についても内容を質した。

〈条例関係〉

大東健康福祉センターの調理室等の貸館実施ほか、市有財産を福祉団体へ貸与するため普通財産に移管する条例変更等2件。

〈予算関係〉

社会福祉法人よしだ福祉会の小規模多機能型居宅介護施設整備に1、500万円計上された。また、かもめ保育園保育業務委託事業費456万円については、保護者の保育ニーズであるとした病後児保育、延長保

育の実施が不透明で、保護者の理解も不十分。行財政改革だけが先行している等の事由で予算に反対の意見もあった。



9月議会で契約が承認され、着工した掛合小学校屋内運動場建設工事。契約額は2億1,084万円



委員長 田中 隆

〈条例関係〉

平成20年4月1日から下水道使用料金を統一することに、水道使用水量に応じた従量制になるため、下水道処理施設への流入以外の水道使用水量の取扱い基準を明確にし、速やかに周知徹底するよう求めた。

なお、激変緩和措置については交付税算定基準をクリアするために設けないとの答弁であった。

個別浄化槽整備事業受益者分担金について、旧掛合町は分担金がなかったため、平成20年4月1日から旧大東町の分担金に統一することにつき、執行部からは下水道事業負担金検討委員会の意見を尊重した対応との説明があった。これに対し



明石公園パークゴルフ場オープン。深石副議長による始球式（10月1日）

合併協定を尊重して統一すべき、事業毎に統一しては、との意見や掛合町を旧大東町の分担金に合わせた理由が明確でないなど質疑が集中し、挙手による採決となった。また、整備を進めてきた三

高利の企業債について繰上げ償還するなど健全な財政運営を求めた。

〈予算関係〉

刀屋明石緑が丘公園の新パークゴルフ場が10月オープンすることに伴い使用料を決定した。

18年、19年の豪雨による災害復旧予算1億4841万円を補正。

〈水道会計決算認定〉

高利の企業債について繰上げ償還するなど健全な財政運営を求めた。



委員長 周藤 強

尾原ダムは、9月12日から提体のコンクリート打設が始まった。

これから約2年半をかけて約66万㎡のコンクリートが打設されることになっている。

また、今年度中には、ダム工事の中では最大の行事である「定礎式」が予定されている。

ダム対策特別委員会は9月20日に委員会を開き、付託された案件について審査した。

付託された案件の審査
平成19年度雲南市ダム対策事業特別会計補正予算（第2号）

補正額 82万円

全会一致で原案のとおり、可決すべきものと決定した。



98クルーの参加で盛り上がった第6回斐伊川秋桜レガッタ（9月30日）

2. その他

次のことについて執行部より説明を受けた。

①尾原ダム建設第一期工事（本体工事）の状況について

②「地域に開かれたダム

整備計画」の状況について

☆温泉地区住民アンケート調査の実施状況

☆エントランス広場等整備計画

③関連イベントについて
☆尾原ダム湖まつり2007 10月28日開催

☆第6回斐伊川秋桜レガッタ 9月30日開催

11人が聞きたい

一般質問

一般質問のページは質問者本人の原稿をもとに広報委員会にて編集しました。また質問項目すべてを載せているものではありません。



安原重隆

地域格差のない施策を

答 生活基盤格差を解消する

問 先の参議院選挙の論点を見聞する中で、国政の課題が極めて身近なものと感じた。格差が国内にあっては国民の反発を買い、国際社会にあっては戦争にもつながるものと思わざるを得ない。雲南市で地域格差のない行政を進める基本的な考えと方策は。

答 先の参議院選挙の論点を見聞する中で、国政の課題が極めて身近なものと感じた。格差が国内にあっては国民の反発を買い、国際社会にあっては戦争にもつながるものと思わざるを得ない。雲南市で地域格差のない行政を進める基本的な考えと方策は。

市長 雲南市全体では生活基盤の格差がある。限られた財源の中で順番をつけて取り組んでいくと、地域的な課題が当然出てくる。生活基盤の平準化は、トータルとしてどの地域も平準的な事業投資となると思う。雲南市全体の利益と均衡ある発展のために理解願いたい。

問 職員の資質向上について、望まれる職員像は。

市長 職員のあり方は①社会全体の奉仕者②公明正大③謹厳実直が基本要件と思う。更に①接遇の向上②迅速、決断、実行、報告③迅速、正確、親切、丁寧④積極的な情報入手と認識している。

問 職員の資質向上策や能力開発をどう進めるのか。

総務部長 自ら学習することが重要だ。自学を促すための仕組みづくりが大切と考える。人材を育成し活用していくために、総合的な人事管理制度の構築に取り組み、能力開発は研修を主体に実施している。



深津吏志

財政難で庁舎建設どうなる

答 庁舎位置決定後検討する

問 市長は施政方針で市庁舎の建設位置について、3候補地のうちから年内に一定の方向を示したいとされた。現在の財政状況の中、位置が決まれば、地権者との関係等から建設を進めざるを得なくなるのではないか。

市長 市長は施政方針で市庁舎の建設位置について、3候補地のうちから年内に一定の方向を示したいとされた。現在の財政状況の中、位置が決まれば、地権者との関係等から建設を進めざるを得なくなるのではないか。

問 今年7月の豪雨により、大東町の遠所川が一昨年に続き氾濫し、水田や住家が浸水した。河川改修が必要と思うがどうか。

建設部長 治水対策上、河川改修は重要であり早期に実現が出来るよう県へ要望していきたい。



川が氾濫し、浸水した住宅（大東町仁和寺）



農家を苦しめている鳥獣被害
イノシシ被害を調査する水稲損害評価委員



吉井 傳

山間地水田を守る策は

答 非農家参画の新組織に期待

問 本市の水田平均耕作面積は39aと零細で、地理的条件も悪く有害鳥獣被害も多く、米価の下落や高齢化、後継者不足等で荒廃農地が増大し危機的状況だ、環境、国土保全対策としても有効策

はないか。

産業振興部長 集落営

農・認定農家・農業法人を主体とし、農地・水・環境保全向上対策、直払い制度等活用し、非農家も一緒に農地や集落を守りたい。

市長 極めて重要な課題だ。小規模農業振興対策は、国へ制度を求めつつ積極的に方策を出したい。

問 米価の向上対策としてライスビルの建設は欠かせないかどうか。

産業振興部長 現在JAと協議中であり実現に向けて努力したい。

問 国から市町村への職員派遣の方針ときく。

市長 現在、本市からも国へ職員派遣しており有効と考える。機会があれば積極的に交流したい。

問 市の優先プロジェクトと位置付けたブランドプロジェクトの事業目標は。

政策企画部長 定住対策の強化や、「雲南の食」をテーマとした東京、関西でのイベントに参加する。販売体制、産直施設

への出荷支援に取り組み、ふるさと会との連携で雲南市情報を発信し観光客入り込みを年間85万人、農業出荷額63億円を目指す。



加藤 欽也

有害鳥獣対策予算増額を

答 増額しないが事業継続する

問 雲南ふるさと会の活動内容と組織状況はどうか。

政策企画部長 東京、近畿は2年に1回、広島は毎年総会を開催、会員は東京826人、近畿1、673人、広島455人、合計2、948人で、雲

南市の応援団として協力を求めている。

問 今後検討されるふるさと納税のためにも新規会員の募集が必要と思うがどうか。

政策企画部長 市報、ケーブルテレビ、ホームページ、自治会等呼びかけ

を求めている。

問 今後検討されるふるさと納税のためにも新規会員の募集が必要と思うがどうか。

政策企画部長 市報、ケーブルテレビ、ホームページ、自治会等呼びかけ

たい。

市長 加入の働きかけを一層やっていきたい。

問 小規模小売事業者の売上げ減少の対応はどうか。

産業振興部長 商工業振興補助金として毎年島根県補助の3割以内をめどに補助をしてバックアップしている。

問 有害鳥獣対策の補助金は対前年比で、150万円減額だ。農業を守るため増額の考えはないか。

産業振興部長 実態を十分承知している。増額は出来ないが、補助事業は継続したい。

問 基幹産業の農業を守るため、補助金100%の執行が必要ではないか。

市長 状況把握した上で検討したい。

問 成人式の開催時期変更の考えはないか。

教育部長 現時点では変更の考えはない。

市長 内部で協議してみたい。



夏の成人式で喜びを表す新成人
(8月14日 三刀屋町アスパル)



金山寿忠

新庁舎建設の財源は

答 合併特例債が有力

問 新庁舎建設の積立金もない状況だ。新庁舎建設資金の計画はどうか。

総務部長 庁舎位置により事業費が違ってくる。合併特例債が有力な資金になると思う。

問 財政難であるいま、新庁舎建設より学校等の公共施設の耐震補強工事が先ではないか。

総務部長 合併協議の協定書の中で、建設計画期間中の建設を旨指すとなっ



永井隆平和賞で記念撮影する受賞者（9月9日）今年も多くの作品が全国から寄せられた

ており、財政状況を勘案しながら検討していく。

問 平成15年12月26日、澄田知事に合庁周辺の可能性について要望活動されたが、この要望は生きていますか。

市長 当然行政の継続性からして、生きていると理解している。

問 雲南市は、長崎市と姉妹縁組を検討されているが、平和をキーワードとして、市長自ら長崎市へ出かけ、長崎市長とトップ会談をする考えは。

市長 そうした機会を是非つくった上で、こちらの熱い思いを伝えていき、両市の一層の平和のまちづくりが進展すればと思っています。

問 雲南市の花は桜だが、尾原ダム湖への桜の植栽は、「笹部桜」を植えたなら、この桜は成長が速く寿命が長いがどうか。

政策企画部長 提案をいただいた笹部桜を含め、桜守さん等、専門家の指導助言をいただき、最も適した桜を植栽したい。

青木幸正

「オラレ」場外舟券売場の誘致

答 市民の理解が必要だ



問 文科省は、新計画で1,000億円の交付税措置をしているが学校図書室整備の進捗状況を伺う。

教育長 司書教諭は極めて重要だが設置してない。冷房施設はほとんどしてないが鋭意整備する。国からの交付税は、図書と教材備品購入に当てている。今年度の図書購入



図書室を利用する海潮小学校児童

予算は昨年度より減額。PTA、後援会費等で図書購入費に充てている。

問 公営ギャンブル場外舟券売場について伺う。

市長 3月に加茂町商工会から要望書が提出され私と内田副市長、政策企画部長、商工観光課長が同席した上で、加茂総合センターを窓口にした。住民の皆様が地域の活性化になる意向であるなら行政も前に進むのも妥当と思う。

地域の皆様挙げて歓迎されなければならない。

市全体の問題であり当然議会の理解も必要である。

問 加茂町中心市街地活性化について伺う。

市長 南北2道路について整備計画になれば、その範囲内でやる。できなければ地域の皆様にも理解いただく。「炎の芸術館」は財政が大変厳しい状況で事業の見直しを考える。学校施設は人材育成に必要であるので箱物悪用説ではない。公営住宅は、何らかの格好で今後実現する。

一般質問



山崎正幸

市政運営の総括と方針は 答 財政健全化早期に確立

問い 地域自主組織の審査は、基準を明確にし、同一テーブルで行なうべきと考えるかどうか。

政策企画部長 審査方法は現段階では現状どおりとし、審査基準の明確化については、見直し中だ。もう少し掘り下げる形で検討を行なう。

問い 利用者の少ない地域バス利用促進方法と、山間部住民が格差なくサービスが受けれる代替案の検討について考えはないか。

政策企画部長 利用促進は働きかけるが、市民バス交通見直し方針で、来年4月より5便を減便する。対策協議会等で、より効率的で効果的な運行について再検討の必要がある。

問い 地方交付税が一方的に削減され、地域間格差が生じ、地方にとって非常に厳しい行財政運営を迫られている。3年間の市政運営の総括と今後の方針を伺う。

市長 新市建設計画に基づき各種事業の推進と、徹底した行財政改革に取り組んだ。今後も徹底した歳出削減に努め財政の健全化を早期に確立して、新生雲南市の礎を築き上げていく。



星野智

使用禁止の遊具は撤去すべき 答 最終的な安全確認を行う

問い 県内の特別支援学級の児童数が急増し、特に自閉症などの情緒障害の伸びが目立っている。雲南市の小・中学校においての状況はどうか。

教育長 情緒学級の児童生徒は増加しているが、1人ひとりのニーズに応じた指導及び必要な支援をしていく。

問い 児童虐待は10年で9倍になっている。母親の虐待が多いが雲南市の状況はどうか。

健康福祉部長 県の状況は母親からの虐待が160件のうち約半数と言う状況である。市も県と同様の状況ではないかと推察している。

問い 三刀屋保育所の遊具が腐食し使用禁止の札

が掛けているが、遊具を撤去すべきではないか。

健康福祉部長 11月に専門業者を入れ最終的な安全審査をする。保育士の監視のもとで遊び、安全面は守れる。

問い 三刀屋町基町住宅は老朽化が進み危険住宅になっている。整備計画は立てているか。

建設部長 現在9戸が大規模修繕が必要な事から政策空き家として扱っている。将来は建てかえをする計画を立てている。

問い 三刀屋町の市道南通り線の地王く旭町間の工事進捗状況はどうか。

建設部長 現在、用地買収と家屋補償を進めている。進捗率は25%程度だ。



藤原政文

予算編成過程からの情報公開を 答 公表方法・時期を検討

問い 新年度予算編成過程からの情報公開を。

総務部長 本年度から行政評価システムを導入した。また、施策別予算枠方式とする。施策評価の結果を待ち施策別予算と評価を併せて公表する。予算の査定状況は公表の方法、時期等を検討し、できるだけものを公表したい。

問い 新庁舎建設について、所信表明にある「財政状況」や「社会環境の動向」とは何か。

総務部長 厳しい財政状況下、3候補地のうちどこが最適か、また、これまでの議論、地権者をはじめ権利者、団体等に配慮しながら進めるということだ。

問い 新庁舎建設をはじめ大型事業は財政健全化法を考慮し、中長期の事業の議論が必要だが。

市長 財政健全化法を見据え、継続事業も含め中長期的な財政計画が必要であり、建設計画も中長期的に見直す。

問い 「子育てするなら雲南市」構築のため豊かな学力、教育費の軽減、安心安全の学校づくりが必要。副読本等の使用状況等を含め教育活動評価項目に生徒の評価を加えることを検討すべきだ。

教育長 外部評価に生徒の評価は重要と認識している。「子育てするなら雲南市」構築のために、学校支援の観点で、地域挙げて教育に邁進する。



板持達夫

小規模校存続の環境づくりを

答 慎重に検討していく

問 小規模校であっても良さはたくさんある。

大規模校にはない、地域住民との深いかかわり交流、地域づくりに欠かせないホットな交流がある。

幼・小・中の適正規模、適正配置検討委員会が設置されているが、教育委員会として小規模校が存続できる環境づくりをすべきではないか。

教育長 小規模校の良さは認識している。生徒数が少ないという理由だけで統廃合すべきでないと考えている。ただメリットもあるが小規模校なるがゆえのデメリットもある。競争心が生まれ、人間関係の固定化とかで保護者の方は心配されている。こうしたことをふ

まえながら、適正規模、適正配置検討委員会で議論を進めてまいりたい。

問 雲南ブランド化の自治体セールスに欠かせないのは、市長のトップセールスだ。全国発信に向け市長の意欲を問う。

市長 就任以来全国を巡り努力してきた。今後も積極的に全国発信してまいりたい。9月30日には大井競馬場で雲南市の特産品を販売する。私もその先頭にたつ。また広島での秋の食のフェスタ、東京国際フォーラムでの映画「うん 何？」の上映等、雲南のブランド化にむけ努力してまいりたい。



藤原信宏

合併特例債による庁舎建設を

答 建設を前提に位置を決定する

問 住宅施策について伺う。①公営住宅に居る収入超過世帯の家賃引上げ改定への対応②収入基準の高い特定公共賃貸住宅等、中堅所得者層向けの公的住宅確保への転換

③入居決定における障害者や高齢者への配慮④高齢者用福祉住宅等の推進⑤地域経済の活性化に繋がる「一般住宅のリフォーム補助制度」創設の考え

建設部長 ①国の制度改正であり、市単独の柔軟な運用はできない。②既存公営住宅の建て替えを優先的に行う。③入居審査の際の項目として配慮している。④新たな建設は計画していない。⑤趣旨は理解するが、現段階で創設の考えはない。

問 庁舎は、将来の市街化形成やまちづくり構想に大きく関わる行政の核施設である。スリムで機能的な庁舎建設は行革推進の上からも極めて重要で、合併特例債の充當可能な期間でなければ絶対できない。①新市建設計画期間中の建設を前提に、最大限の努力をすべきと考えるがどうか。

市長 新市建設計画期間中の建設を前提に、庁舎位置を決定したい。

総務部長 様々な手法や財源を視野に入れて検討し、計画策定に当たる。



光 谷 由 紀 子

図書整備費を他へ流用か

答 全体教育費勘案し実施

問 国の農政は、本市の農業の実態に合っているのか。田起し、田植え、稲刈りの委託はできるが畦草刈り、除草や施肥等やってもらえず困難との声がある。実態の認識があるのか。また、緊急な相談対応はなされているのか。

産業振興部長 零細な経営農家には国の農業政策の活用はできない。集落営農の促進を図っている。合併で農業委員も減り定期的な相談日の開催は困難である。

問 フレッシュフーズ(株)の進出においては、雇用人数や売上げ額の計画に問題点が多くあると指摘してきた。突然の従業員解雇の原因は何か。相談窓口の設置の考えは。

産業振興部長 不採算のカット野菜部門で11人自己都合で退職。相談等の対応はしていない。今年度末に固定資産税納付を確認後、助成金を支払う。特に問題はない。

一般質問



堀江 治之

下水道分担金は一元化すべき

答 各町経緯あり現行どおり

問い 現在策定中の地域防災計画を完成し、市民へ周知することが急がれる。現時点での策定状況と周知の時期はどうか。

総務部長 県との正式協議も9月には完了させる予定で進めている。市民の皆さんへの周知は、計画書の概要版として年内の全戸配布を考えている。

問い 鳥根県からの事務事業の権限移譲に対する雲南市の考えはどうか。

総務部長 住民自治の強化、住民サービスの向上、事務事業の効率化等につながるものについて移譲を受ける方向で取り組むこととしている。

問い 下水道事業の分担金の一元化は、合併協定書により確認されている

が、その考えは。

市長 合併協議会の際、一元化に向けて検討する方向性を出したが、各町村の経緯がある。さらに



大東町内ですすむ下水道工事。工事分担金の一元化は見送られた

検討委員会での結論であり、一元化はせず現行どおり継続する。

問い 橋梁の維持修繕計画について、早急に点検し、新年度予算による対応が必要と思うがどうか。

建設部長 長寿命化修繕計画策定をベースに整備を図るが、緊急度の高いところから、可能であれば来年度予算に反映させたい。

細田 実

出資金権利放棄は疑問だ 答 用途転換の市方針に起因



問い 農地、道路、水路の小規模災害復旧を急ぐべきだ。

建設部長 市道は崩土取り除きなど市単独予算で対応し、復旧を第一義に取り組む。

問い 補助のない農地災害に市独自の施策で復旧を進めよ。このままでは農地荒廃がすすむ。

産業振興部長 市単独での復旧は厳しい。



農地災害の現場（大東町須賀）

問い 市長交際費を自ら公表すべきだ。支出基準はあるか。

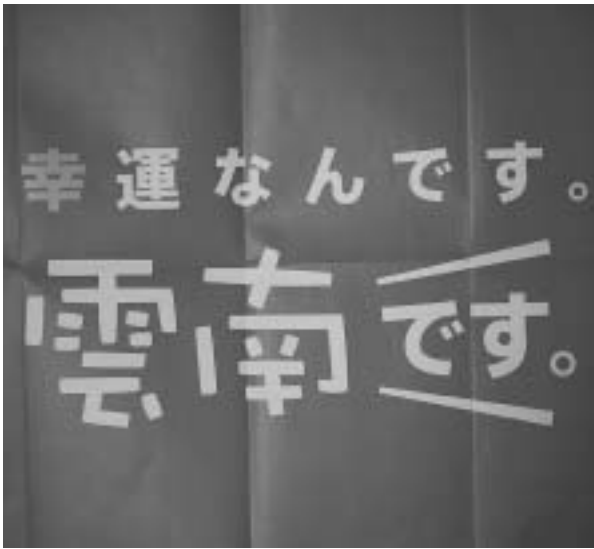
総務部長 来年度から公表する。おおむねの支出基準を定めているが他団体、議会を参考に基準をつくる。

問い 第三セクター(株)みとの解散に伴う残余財産分配金の一部権利放棄は会社法の規程や市民の税金の使途から疑問だ。民間主導、行政主導の違いと説明されているがど

のような違いか。

政策企画部長 会社法に基づき株式の数によって分配するのが原則である。今回は施設の用途転換をするという市の方針に起因したためだ。

問い 「指定管理者制度と安全な施設運営」をどう図る考えか。
総務部長 コストの軽減だけに目を向けず、適正なサービス、安全確保に努力する。



議会で「何が幸運？」との市民の声が取り上げられた



高尾 肇

参院選と今後の市政は 答 実態をより強く国に

参議院議員選挙の

結果(与党の敗北)を雲南市長としてのどのように分析し、今後の市政運営にどう反映するのか。

市長 地方が置かれている現状を自民政権への不信として行動された。格差の実態を今まで以上に強く国に訴え、また行政改革に取り組み、足腰の強い基礎自治体とする認識を市民と共有する。

問 「幸運なんです雲南です」は、市民に受け入れられていない。市民に何を訴えたいか。

市長 毎日の暮らしは大

変だ。しかし雲南市には複数世代家族が6割、美しい農村風景、歴史遺産、安全な食と農、こういった恵みが「幸運なんです」である。恵みを地域の宝と認識し、ブランド化プロジェクトを進めていくことが市の発展につながる。

問 サルの被害が甚大だ。地域の協力もあり成果を挙げているが、一層の強化を願う。

産業振興部長 木次、三刀屋での被害が多発し大変な状況と認識している。財政状況は厳しいが一層の対応を図る。

問 市県民税に賦課の誤りがあったと報告された。税務に間違いは許されない。今後に向けて取った対策は何か。

市民部長 当面の改善項目は①確定申告データの入力確認作業工程の追加②データの入力作業と確認作業の分離。来年は間に合わないが、中期的に課税資料の電子データ化を進めていく考えである。



福島 光浩

子育て支援体制の拡充を 答 協議調整し対応する

問

問 市の主催、共催するイベント時には、預かり保育等の体制を確立して、子育て世代が参加しやすい環境を作っていくべきと考えるがどうか。

健康福祉部長 子育て支援だけでなく、男女共同参画の観点からも必要なことだと考える。託児所の設置を協議し、開催日約5日前までに予約する全国的な通例を参考にしながら、統一して対応したい。

問 マタニティマークの周知を図り、有効的に利用して、妊産婦に対する優しい環境づくりが必要と考えるがどうか。

健康福祉部長 厚生労働省が昨年3月に決定したこのマークは、国民すべ



普及が期待される厚生労働省のマタニティマーク

問 自治体のホームページは、身体状況や年齢を問わず利用できるようにしなければならぬ。また雲南の情報発信の中心として、再構築が必要と考えるがどうか。

政策企画部長 各課の担当職員の研修等を行い、共通認識を深め閲覧しやすいホームページづくりを目指す。コスト面もあるが、閲覧支援ソフトの導入を検討したい。

一般質問



深田 徳夫

雲南市に格差はあるか

答 生活基盤に格差ある

問 参議院選挙で格差が争点となり政権与党が敗北した。雲南市は何が格差だと思われるのか。

市長 生活基盤等に格差がある。合併協議事項の平準化に努力している。

問 生活基盤整備は旧町の政策で優先度が違ったためである。投資額に現在大きな格差があり、加茂町6億円、大東町54億円、あまりにも差が大きいと思うのか。

市長 差があることは認めるが、平準化・一体感の醸成のためである。説明責任を果たし理解を得たい。

問 暑い夏で国道を始め道路状況が悪い。特に三代線高見地内の改修を早急に望む。また三代南

の路線を優先すべきだ。20年度に実施するか。

建設部長 地域バランス、緊急性、地域の実情に応じ道路整備を進めたい。

問 効率的な道路行政を行うには、県からの権限委譲を求め、県道も含め市が対応することが的確ではないか。

市長 受け皿能力と住民サービスを迅速に行なう観点から検討したい。

問 郵政民営化が近づいた。見守りなどのサービス業務はどうなるか。
総務部長 新会社と今後協議する。



10月1日から民営化した郵便局はサービスの維持・向上となるか（三刀屋町鍋山郵便局）



腐食により車の通行が禁止された三刀屋町の畑杭橋



松浦 保潔

掛合の年金記録廃棄の影響は
答 社保庁移管時に本人履歴確認

問 社会保険庁では年金記録を相談窓口で対応しているが、雲南市への問い合わせはあるか。

市民部長 雲南市を通して社会保険庁への確認依頼が35件あった。内容は年金加入期間の照会、社会保険庁の記録での未加

入、未納期間の市町村保有旧台帳での記録確認がほとんどであった。

問 旧掛合町では国民年金の保険料納付記録を廃棄したと報道されたが年金記録調査に影響は。

市民部長 旧掛合町の国民年金の廃棄処理は、市

町村が保管する法令上の義務が無くなってからであり、適正に行われたと認識している。また平成8年の窓口オンラインシステム導入時に、加入者全員のデータを移し履歴確認、本人確認をされており、年金記録の照会で不明が発生するのはきわめて少ないと考えている。

問 アメリカの橋崩落事故で犠牲者が出たが雲南市の橋の調査はするの

建設部長 雲南市の橋は1、037で全部の調査は困難である。国の橋梁修繕、長寿命化修繕計画

問 全国の認可保育園で、特に保護者のモラル低下が原因で多額の保育料の滞納があったと報道されたが市の対応は。

健康福祉部長 18年度の滞納額は約275万円あった。相談に応じても保育料を納めない方には財産調査とか差し押えも考えている。



村尾 晴子

掛合小通学路安全図れ

答 県と協議し対策とる

問 掛合統合小学校の
来々4月開校までに、学
校付近の通学路の幅員を
拡張し、安全対策を図る
べきだ。

教育部長 地元より道路
拡張の要望書も出ている。
校庭の整備にあわせて通
学路の一体的整備を計画
している。掛合分校の今
後の動向が具体化されず、
今しばらく時間を要する。

問 掛合分校の廃校予
定はいつ頃になるか。子
供たちの通学に安全を確
保する対策をたてよ。

教育長 数年先の廃校の
予定はない。掛合分校と
の関わりで通学路の問題
がでているので、県と十
分協議して子供の安全を
最優先に考え具体的対策
をとりたい。

問 有害鳥獣、特に猿

被害には防除の方法がな
く苦慮しているのが現状
である。訓練犬が野猿を
追跡し山へ追い返すモン
キードック事業を導入す
る考えはないか。

産業振興部長 訓練期間
も要り費用もかかるので
市としての導入は考えて
いない。



掛合統合小学校と三刀屋高校掛合分校の通学路。
安全のため拡張の要望が出されている

岡田 盛行

高速道路時代への振興策は 答 対応した地域づくりに努める



問 高速自動車道尾道
松江線は順調に工事が進
んでいる。中国縦貫道ま
であと数年で開通するが、
道路を生かした地域振興
策の必要とその位置づけ
が今後の雲南市発展を左
右すると思うがどうか。

市長 仮称吉田パーキン
グエリアは冬期スノーペー
スとして整備されると聞
いている。パーキングエ



高速道路の工事現場を視察する市議会高速道路対策特別委員会 (10月1日)

リアとして地域活性化が
図られるよう市としても
関係機関へ要望し取り組
んでいく。

問 市民バスの減便方
針は変わらないか。代替
策はないか。

政策企画部長 地域の住
民の理解を得ながら20年
4月から行う。今後は福

祉有償バス、過疎地有償
バスなども考えていく。

問 業者による除雪体
制は維持できるか。技本
的対策が必要ではないか。

建設部長 将来的には大
きな問題である。各セン
ターと対策会議を行い除
雪体制を確保していく。

産業建設委員会



時・所 7月10日 香川県まんのう町、
7月11日 岡山県真庭市

研修項目 (1) グリーン・ツーリズムの取組み
(2) バイオスタウン構想の取組み
(3) まちづくり交付金事業の取組み

真庭市のバイオマスツアーは、新しい仕掛けで、行政・商工会・事業者の知恵を感じました。エタノールには注目です。ツアーのガイドも熱心でした。

リーフレットの記述誤りを見つけるなど、大いに勉強しました。

総務委員会



時・所 8月6日 兵庫県丹波市、
8月7日 兵庫県宝塚市

研修項目 (1) 地域づくり交付金制度
(2) 地域コミュニティ活動
(3) まちづくり基本条例
(4) 市民参加条例

丹波市では(1)、(2)について研修しました。特に、受益が地元利用に限られている市の施設は、「地元合意があれば地元に譲渡する。地元も不要であれば廃止する」手法に注目しました。

宝塚市では(3)、(4)について研修し、現在雲南市でも協議されている「まちづくり基本条例」の先進事例を研修しました。

議員活動

視察
研修

議会広報編集委員会



時・所 8月23日 岡山県真庭市

研修項目 議会広報編集の取組み状況

真庭市の議会だよりは、当市と同じく年4回発行しており、編集委員が自ら苦勞して編集し作成している様子が伺えました。

特に表紙の写真は、発行月前後の旧町村でのイベントを説明付きで掲載するなどの工夫がしており、読みやすく、わかりやすい紙面づくりに努力されていました。

この研修を活かし、今後も広報を通して開かれた議会を目指します。

議会運営委員会



時・所 7月31日 鳥取県倉吉市、
8月1日 岡山県備前市

研修項目 (1) 議会運営の現状
(2) 議会倫理条例制定
(3) 会派制導入の取組み
(4) 政務調査費収支報告の公開
(5) 議会申し合わせ事項

倉吉市議会では、全国初の年5回の定例会（通常は年4回）、会派制のメリットデメリット、議員政治倫理条例の制定を中心に研修・意見交換をしました。

備前市議会では、日本一の「政務調査費交付条例」を作ろうと意欲的に制定された条例を中心に研修しました。

研修では学ぶことが多く、雲南市議会も改善が必要と感じた研修でした。

地震被災者へ義援金



雲南市議会は、本年7月16日に発生した新潟県中越沖地震において被災された方々への慰労激励のため、8月27日に義援金を速水市長に渡しました。

これを雲南市の義援金として取りまとめ、日本赤十字社新潟県支部に送金されました。

被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、被災地の日も早い復興を願うものです。

請願・陳情

審査結果

「採択されたもの」

●市道中原線「中原橋梁」の改架についての陳情書

宇治連合自治会（加茂町）

会長 錦織 勇夫

外2名

●地方財政の充実・強化を求め
る陳情書

雲南市職員労働組合

執行委員長 周藤 正志

議員発議

陳情の採択に伴う議員発議1件、自治体の公益に関するもの1件について、国の関係機関に対し意見書の提出を行うもので、いずれも採択しました。

●地方財政の充実・強化を求め
る意見書

●有害鳥獣対策の抜本強化を求
める意見書

杉原加代選手

世界陸上で健闘

8月25日～9月2日に大阪陸上競技場で開催された世界陸上大会に日本代表選手として初出場した杉原加代選手は、29日の女子5000M競走で世界の強豪選手に混じって健闘されました。



議長を表敬訪問した杉原選手（9月6日）

結果は、15分31秒44と自己の最高記録には及びませんでした。が、来年の北京オリンピックに向け確かな手応えを感じたレースであったと思います。
北京に向かって『杉原加代後援会』の皆さんを始め市民の皆さんと一緒に、これからも応援します。
頑張れ！杉原選手

編集後記

前代未聞の安部政権の崩壊から二週間、福田内閣が誕生して、ようやく国会が再会される。辞任の引き金となったテロ特措法を始めとする難問山積の中で、年金・横領問題など、国民の不満は今や政治そのものへの不信となって広がり、まさに「背水の陣」での船出である。

市場原理を旗印に進められた小泉構造改革は、持たざる者に痛みや格差を強いる結果を招いた。厳しい国家財政の中で改革の手は緩められないが、参院選惨敗の国民の声をしっかりと受け止め、改革の陰の部分に光を当てべく軌道修正し、安定と調和の政治を期待したい。

解散総選挙も大事だが、野党にも同様に「政治と金」や「年金問題」等、先ずは政治への信頼を回復すべく責務がある。国会挙げての論戦を基本に、国民に見える形で当面の難局を打開して欲しい。

雲南市も波乱の9月議会であった。審議未了で初の継続審査となった残余財産の権利放棄、経費削減のみが行う保育園の業務委託、建築工事の入札延期や一般質問で始めて知られる場外券売場等々、十分な説明が成されないままに提案される事案が増えてきている。

本市もまた、財政再建の道程は遠い。今一度合併当初に立ち返り、行革意欲と緊張感を奮い起こして、説明責任を果たせる緻密な行政の執行を望んでやまない。

議会広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 吾郷 廣幸 |
| 委員長 | 藤原 信宏 |
| 副委員長 | 板持 達夫 |
| 委員 | 星野 智 |
| 委員 | 金山 忠 |
| 委員 | 山崎 幸 |
| 委員 | 細田 正 |
| 委員 | 山田 隆 |
| 委員 | 景山 義 |